

より良き会員サービスを求めて

編集長 植之原道行



学会活動の主な目的は、学会が対象とする技術分野の研究開発を振興し、会員個人はもとより、学会や産業界の発展に寄与することである。そのためにいろいろな活動を展開しているが、学会誌や論文誌などの編集と発行は、活動の中で重要な役割を果たしている。多くの会員の献身的な奉仕によって、これらの活動が支えられていることに対して、心から感謝の意を表したい。

学会会員の多くは、直接研究会に参加したり、論文を発表する機会がほとんどない人々である。必ずしも安くない会費を納めて、学会活動を支援して下さっているこれらの会員の方々に対して、学会が行っている直接的なサービスは、学会誌を通して学会の活動や技術の動向を伝え、それぞれの会員の活動に役立ててもらおうことである。もちろん、研究開発の振興は、技術を進歩させ、技術革新を芽生えさせ、多くの会員の方々の活動に大きく貢献するわけであるから、学会の間接的サービスといってもいいと思う。しかし直接的なサービスである学会誌の内容を、役立ててもらえるようなものに改善していかなければならないと思っている。

論文誌は、研究成果を学界の学問や産業界の技術の進歩に貢献するために、一刻も早く優れた学術論文として公開する役割を担っている。世界に広く公開するために、和文誌だけでなく英文誌も発行するに至っている。論文誌の発行には大変な費用がかかる。そのために、論文委員の方々には、多忙な時間を割いて、無報酬で論文の評価選択と質の向上に奉仕して頂いている。また、成果を発表して下さるの方々には、現在は世界で一番高い掲載料を負担して発表して頂いている。学術論文の性格と、コピーが容易になったことから、商業ベースで論文誌を発行することは容易なことではない。

論文の投稿から出版までの時間を短縮し、発行コストを低減するために、電子出版の体制を逐次整備してきている。著者の負担を国際並みに低減するだけでなく、どの学会よりも早く論文を公開することを目的として、編集関係の方々に努力してもらっている。投稿される方々も協力して欲しい。論文掲載が世界のどの論文誌より早ければ、国内外からの最先端の優秀な論文も増加し、海外からの有料講読者も増え、会費の負担も軽減できるものと期待している。

広く多くの方々に学会が支持して頂けるために、投稿して読んで、活用してもらえらる学会誌と論文誌の編集を通して、より良い会員サービスへの向上を求めて努力していきたい。マルチメディアサービスの時代を先取りして、学会が先導役を果たしたいものである。